

研究発表会開催通知

(昭和59年9月15日～10月31日)

研究会	日	時	会場	備考
データベース・システム	9月17日(月)	13:30～17:00	機械振興会館	前号参照
情報システム	9月18日(火)	13:30～17:00	同上	同上
設計自動化	9月18日(火)	13:15～17:00	商業界会館	同上
知識工学と人工知能	9月19日(水)	10:30～16:00	電総研	同上
コンピュータビジョン	9月20日(木) 9月21日(金)	15:00～17:00 10:00～12:00	広島大	同上
オペレーティング・システム	9月21日(金) 9月22日(土)	9:30～17:00 9:30～17:00	機械振興会館	同上
ソフトウェア工学	9月26日(水)	13:30～17:00	商業界会館	同上
自然言語処理	9月28日(金)	13:30～17:00	武蔵野通研	同上
ソフトウェア基礎論	9月28日(金)	13:30～17:00	京大	同上
日本文入力方式	10月3日(水)	13:30～17:00	機械振興会館	下記参照
数値解析	10月6日(土)	13:30～17:00	京大	同上
記号処理	10月11日(木) 10月12日(金)	13:30～17:30 9:00～17:00	北大	同上

◆ 第17回 日本文入力方式研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 山田尚勇, 幹事: 坂下善彦, 首藤正道)

日時 昭和59年10月3日(水) 午後1時半～5時

会場 機械振興会館 地下3階1号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211]

議題 (1) かな漢字変換辞書圧縮方式

西淳一郎, 野口正弘, 館林 誠, 久保田淳市, 向井喜美 (松下電器)

[概要] 辞書を一単語当たり約5バイトまで圧縮した高性能な複数文節入力かな漢字変換方式について報告する。

(2) あいうえお順配列キーボードの使い勝手について

高嶋孝明 (日本IBM)

[概要] Hunt & Peck 式オペレーションに適したかな配列を探るため4種類のあいうえお順と JIS 配列で比較実験を行った。

(3) 日本語ワードプロセッサの新しい入力方式

杉谷和宣 (キヤノン)

〔概要〕 入力の際、文節・漢字・平仮名の区切り指定を不要にして仮名漢字まじり文を作成する入力および変換方法。

(4) 仮名文字鍵盤配列の評価と設計

中山 剛, 黒須正明 (日立)

〔概要〕 打鍵モデルにもとづいて仮名文字鍵盤配列から、その打鍵速度を予測する方法を開発し、これにもとづいて4段配列、および3段配列の各種鍵盤配列の評価を行うとともに、モデルにもとづく配列設計法を提案する。

◆ 第10回 数値解析研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 一松 信, 幹事: 名取 亮, 浜田穂積)

日 時 昭和59年10月6日(土) 午後1時半~5時

会 場 京都大学数理解析研究所 1階115号室

〔京都市左京区北白川追分町, 国電: 京都駅烏丸口下車, 市バス: 特17号北白川下車, 206号百万遍下車, 地下鉄: 今出川下車, 市バス: 203号乗継北白川下車, Tel. 075 (751) 2111〕

議 題 (1) 楕円型方程式に対する境界要素法

磯 裕介 (京大・数理解析研)

〔概要〕 一般の楕円型方程式に対して、境界要素法による解法の理論と実例を論ずる。

(2) 正則格子による多重数値積分の試み

一松 信 (京大・数理解析研)

〔概要〕 台形公式の一般化として、正三角格子のような正則格子点を使う数値積分公式による実例と誤差解析を述べる。

(3) チェビシェフ級数展開にもとづく半無限振動積分

長谷川武光 (福井大・工), 鳥居達生 (名大・工)

〔概要〕 関数のチェビシェフ級数展開と数列の加速法を利用した半無限区間振動積分の計算法を述べる。

(4) 数値・数式混合処理システムの Prolog による開発

野田松太郎, 戒能芳弘 (愛媛大・工)

〔概要〕 できる限りパーソナルに使用できる数式処理システムの開発と、数値計算との結合について述べる。

◆ 第31回 記号処理研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 間野浩太郎, 幹事: 稲田信幸, 奥乃 博, 寺島元章)

日 時 昭和59年10月11日(木) 午後1時半~5時半

10月12日(金) 午前9時~午後5時

会 場 北海道大学工学部

〔札幌市北区北13条西8丁目, 国鉄: 札幌下車, 徒歩10分または, 地下鉄: 北12条下車, Tel. 011 (716) 2111

なお, 当日工学部玄関前に室名を提示致します。〕

議 題 10月11日(木)

- (1) LISP を PASCAL に翻訳するときの問題点と解決法

梅村恭司(武蔵野通研)

〔概要〕 LISP を PASCAL へ翻訳する機能をもつシステムを作製したのでシステムの全体像と問題点について議論する。

- (2) Hlisp 新版と REDUCE の移植について

寺島元章(電通大)

〔概要〕 MELCOM-COSMO 800 上に新たにインプリメントした LISP 処理系の概要と、そのもとで動作する REDUCE (Ver. 3) の実行結果から得られた処理系の評価を報告する。

- (3) UtiLisp の 68000 への移植

和田英一, 富岡 豊(東大・工)

〔概要〕 M 200 H 用に開発した UtiLisp が広く使われるようになったので、それを Sun Work Station へ移植した、その方法と移植したシステムの性能を報告する。

- (4) CP/M 68 K 用 STANDARD LISP の開発

小林隆広, 山本 強, 青木由直(北大・工)

〔概要〕 CP/M 68 K を OS としたフルセット STANDARD LISP を開発したので報告する。

10月12日(金)(午前3件・午後4件)

- (5) 国産数式処理システム GAL における数式の内部表現

佐々木建昭(理研), 元吉文男(電総研)

〔概要〕 GAL における正準表現, 前置表現, および記号表の特徴を述べ, 計算の効率化と使用勝手の向上にどう寄与するかを説明する。

- (6) 最小化アルゴリズムの定式化についての一考察

水上達就(釧路高専)

〔概要〕 任意の条件を満たす任意の順序上での最小データを求めるアルゴリズムを自然数上で構成するために必要な条件を考察する。

- (7) 逐次型推論マシン ϕ のマイクロインタプリタ

山本 明, 横田 実, 瀧 和夫, 西川 宏(ICOT)

〔概要〕 ϕ は prolog ライクな論理型言語 KLQ を専用のハードウェアとマイクロインタプリタにより直接解釈実行するソフトウェア開発用のパーソナルマシンである。本稿ではマイクロインタプリタの設計思想と KLQ の解釈実行方式, ファームウェアによる OS インタフェースサポート等の概要と処理の高速化の手法について述べる。

- (8) 非標準形式における定理証明法とその改良について

前田 隆(北大・工)

〔概要〕 証明すべき論理式をいわゆる標準形式に変換せずにその論理構造に基づくいくつかの定理証明法に関して概観し, その改良について考察する。

- (9) LISP 言語の図形処理への応用とその評価

山本 強, 青木由直(北大・工)

〔概要〕 図形処理システムにおける LISP の記述性と実用性について試作システムを例として報告する。

(10) FLATS システムとその支援ソフトウェア

鈴木正幸, 清水謙多郎, 佐藤三久 (東大・理), 稲田信幸 (理研)

〔概要〕 現在稼働中の FLATS LISP インタプリタ, OS およびその支援ソフトウェアについて述べる。

(11) 1984 年 LISP および関数プログラミングに関する国際シンポジウム報告

奥乃 博 (武蔵野通研)

〔概要〕 1984 年 8 月 6 日～8 日, 米国テキサス州オースチンで開催された上記国際シンポジウムに参加したのでその会議について報告する。

◆ ソフトウェア工学研究会

今年度最後の研究会 (第 40 回) を下記のとおり開催いたします。発表ご希望の方は, 11 月 20 日 (火) までに, 発表題目と 50 字以内の概要を添えて, 事務局研究会係までお申込み下さい。

日 時 昭和 60 年 2 月 7 日 (木)・8 日 (金)

会 場 金沢工業大学

議 題 ソフトウェア工学全般にわたり, 特に生産活動における人間的要素, ソフトウェア工学の教育および製品のユーザ親和性に注目した生産・利用現場からの発表を歓迎します。

◆ 第 34 回マイクロコンピュータ研究会 } 合同研究会 (発表件数: 2 件)
第 47 回計算機アーキテクチャ研究会 }

日 時 昭和 59 年 11 月 5 日 (月) 午後 2 時～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階研修 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 言語 OCCAM の設計思想と TRANSPUTER について

IANN M. BARRON 他 (英 INMOS)

〔概要〕 逐次通信プロセス (C. A. R. Hoare) の思想を汲んだ言語 OCCAM の設計思想と OCCAM を直接実行するマイクロコンピュータ TRANSPUTER について解説する (英語)。

(2) 言語 OCCAM の構文図について

若島陸夫 (日本ユニバック)

〔概要〕 言語 OCCAM の普及を目的に構文を構文図式に変換したので報告する。

創立 25 周年記念論文公募について

情報処理学会では創立 25 周年を記念して、昭和 60 年 11 月発行の会誌「情報処理」を、研究会の活動を反映させた記念論文特集号とすることに決定いたしました。

申すまでもなく、研究会は会員相互の自主的な研鑽と研究情報交換の場であり、学会活動の大きな柱であります。従来、研究会活動の活性化と自主性を高める方策がとられて参りましたが、今回その成果を記念論文特集号に反映させることは、記念事業としてふさわしく、学会の将来への発展の礎石となるものであります。

したがいまして、会員各位におかれても、奮って応募されますようご案内申し上げます。

1. 記念論文特集の構成

記念論文は、16 の研究会のそれぞれの活動分野を特徴づける独創性の高い学術論文であるものとします。なお、各研究会は関連する研究分野の動向と、記念論文の位置付けを明らかにした論説を付けるものとします。

2. 候補論文選定の方針

各研究会は、研究分野だけでなく性格も同一ではありません。したがって、候補論文選考の方針、基準等は各研究会に一任されます。各研究会の方針、規定等は学会誌ならびに研究会報告に公示されます。各研究会は昭和 60 年 5 月末までに、各 1 編の候補論文を記念論文特集号編集委員会に推薦、提出するものとします。

3. 記念論文選定の手順

調査研究運営委員長、同じく一号委員ならびに会誌、論文誌、欧文誌編集担当の理事で構成される 25 周年記念論文特集号編集委員会は、各研究会より推薦された候補論文を審査し、各研究会に第一次査読を委託し、内容について十分な審議と必要な修正を求めます。また、上記の論説の執筆を依頼します。

第一次査読を通過した論文は、論文誌査読委員の査読をうけ、十分な審査を行います。この間、疑問があれば、第一次審査にもどされます。論文基準に達していなければ、不採択もあり得ます。これらについての調整は、記念論文特集号編集委員会が当り、第一次、第二次査読を通過したものが、記念論文特集号に組み入れられます。

4. 論文執筆の基本事項

論文執筆の細目は各研究会にゆだねられますが、下記の基本事項はお守り下さい。

- (1) 論文は刷り上り約 8 ページ、研究会が付ける論説は 2 ページをめどとする。論文の表現は、できるだけ明確かつ全貌のわかり易さに心掛けること。
- (2) 文章は邦文とし、執筆者は学会員であること。公募論文の提出先は、該当研究会宛とする。
- (3) 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内に準拠した書き方であること。

5. 特記事項、その他

- (1) 25 周年記念論文に選定されたことを荣誉とし、論文賞の対象といたしません。
- (2) 選定論文 1 編につき論文別刷 100 部を贈呈します。
- (3) 各研究会の募集方針、規定等は前号本欄にあります。
- (4) 不明の事項については学会事務局研究会係までお問合せください。

情報処理学会第30回全国大会論文募集要領

- 開催期日** 昭和60年3月13日(水)～15日(金)
- 会場** 工学院大学(東京都新宿区)
- 応募資格** 本学会個人会員(正会員, 学生会員)に限ります。共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません。なお, 59年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません。また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込みを受け付けません。入会申込書は3月号末尾に添付してあります。(電子通信学会会員は全国大会の参加・発表は会員扱いとします)
- 申込料** 不要です。ただし, 登壇発表される方は, 論文集原稿を提出する際に, 必ず講演参加費(1件につき7,000円)を納入してください。
- 申込方法** 添付の講演申込用紙(1件1枚)に必要な事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒(大きさA4判・21cm×30cmのもの, 切手は不要)を同封のうえ, 59年11月8日(木)までに(必着), 下記申込先へお送りください。登壇発表は原則として1人1件とします。ただし, やむを得ず2件以上になる場合には, 講演参加費は1件ずつごとに7,000円ずつを申しうけます。申込締切後の変更は一切受け付けません。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を12月上旬に送付しますので, 昭和60年1月21日(月)までにご提出ください。発表は日本語または英語で行うものとしますので, 論文は日本語または英語に限ります。ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しませんのでご留意ください。
- 申込先** 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3 号室
(社)情報処理学会 第30回全国大会係 電話 03(431)2808

論文該当分野

1. 基礎
 - a. 計算理論, b. アルゴリズム
 - c. プログラム理論, d. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
 - a. 専用マシン, b. 並列処理, c. 演算装置, d. 記憶装置, e. 周辺端末装置
 - f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術
 - i. マイクロコンピュータ, j. スーパーコンピュータ, k. その他
3. オペレーティングシステム
4. プログラミング言語およびソフトウェア工学
 - a. プログラミング言語とその処理, b. ソフトウェア設計, c. プログラミング技法
 - d. 開発管理保守, e. プログラミングツール, f. 性能評価, g. 信頼性, h. その他
5. データベース
 - a. データベースマシン, b. データモデル
 - c. データマネジメント, d. 分散データベース, e. 性能評価, f. 情報検索
 - g. その他
6. ネットワークおよび分散処理
 - a. システム, b. アーキテクチャ
 - c. プロトコル, d. ローカルネットワーク
 - e. 広域ネットワーク, f. 性能評価
 - g. 通信ソフトウェア, h. その他
7. パターン処理および人工知能
 - a. 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能, f. 知識工学, g. ロボット, h. その他
8. 自然言語処理
 - a. 文解析合成, b. テキスト処理・辞書
 - c. 機械翻訳, d. 入出力, e. その他
9. 数値計算
10. ニューメディア
11. オフィスシステム
12. 技術, 産業への応用
 - a. CAD/CAM, b. CAE, c. グラフィックス, d. シミュレーション, e. その他
13. 社会システムへの応用
14. その他

ACM の各種割引について

1. 本年 10 月 8 日～10 日にサンフランシスコで開催される ACM-84 (1984 年 ACM Annual Conf., 7 月号会議案内欄参照) の登録費が, 本学会の会員は \$ 50 discount されます. 参加申込の際に情報処理学会 (IPSJ) と明記してください. また, 参加される方はお名前, 所属, 電話番号を学会事務局まで至急ご連絡ください.
2. 本学会の会員が ACM に入会すると ACM の年会費が 20 % discount されます. 入会案内書が学会事務局にありますので, 希望者は 170 円切手同封のうえお申し出ください.

「LAN/マルチメディアの応用と分散処理」シンポジウム 開催のお知らせ

近年, オフィスオートメーション, テレマティックサービスなど高度な分散処理が, LAN, マルチメディア通信技術などの進展と相俟って急速に進もうとしています.

分散処理システム研究会 (主査 野口正一) では, このような状況から LAN, マルチメディアを利用した新しい分散処理システムについて基礎的な問題から適用事例まで幅広く情報を交換し問題点を論議する場として, 下記要領でシンポジウムを開催致します. 締切りが間近に迫りましたので, 早めにお申込みください.

日 時	昭和 59 年 10 月 16 日 (火), 17 日 (水) 9 : 00 ~ 18 : 00
場 所	機械振興会館大ホール (地下 2 階)
プログラム	前号本欄参照
参加費	会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 5,000 円 (テキストのみ 3,000 円, 送料 300 円)
申込締切	昭和 59 年 9 月 25 日 (火) (申込書は 7 月号にあります).

「自然言語処理技術」シンポジウム 開催のお知らせ

5月号本欄でお知らせしました標記のシンポジウムを下記の要領で行います。詳しいプログラムについては10月号に掲載いたします。なお、定員に制限がありますので早目にお申込みください。

記

日 時 昭和59年11月6日(火)、7日(水) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

プログラム

- 基調講演「言語工学」の推進 吉田 将(九大)
- 特別講演「科学技術文書の作成技術」 木下 是雄(学習院大)
- パネル討論「自然言語の知的処理」 (司会) 野村 浩郷(武通研)

参加費 会員 10,000円(非会員 15,000円) 学生会員 5,000円
(テキストのみ3,000円, 送料300円)

申込締切 昭和59年10月16日(火)(定員150名になり次第, 締切ります)。

.....きりとり.....

「自然言語処理技術」シンポジウム 参加申込書

昭和59年 月 日
申込者 氏名 _____ 会員 No. _____
連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____
Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)。

正会員, 賛助会員 10,000円 非会員 15,000円 学生会員 5,000円

○送金方法

_____円を_____月_____日送金します(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富士銀行虎ノ門支店 993632
三菱銀行虎ノ門支店 0000608	三井銀行本店 4298739
住友銀行虎ノ門支店 10899	三和銀行虎ノ門東京公務部 21409
名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会	

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 _____ (No. _____)
請求先 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通

注) 申込書は1枚1人として下さい(この用紙のコピーで可)。

「アーキテクチャワークショップ イン ジャパン '84」 シンポジウム開催のお知らせ

5月号本欄でお知らせしました標記のシンポジウムを下記の要領で行います。詳しいプログラムについては10月号に掲載いたします。なお、定員に制限がありますので早目にお申込みください。

記

日 時 昭和59年11月27日(火)、28日(水) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館大ホール (地下2階)

プログラム

- 基調講演 (演題未定) 飯塚 肇 (成蹊大)
- 招待講演「VLSI/デバイスとコンピュータ・アーキテクチャについて (仮題)」
石井 治 (日本工業大)
- パネル討論「第5世代コンピュータ、スーパーコンピュータが商用コンピュータ
に与えるインパクトについて (仮題)」 司会 相磯 秀夫 (慶大)

参加費 会員 10,000円 (非会員 15,000円) 学生会員 5,000円
(テキストのみ3,000円, 送料300円)

懇親会 昭和59年11月27日(火) 17:30~ 於6階65号室 (会費2,000円)。

申込締切 昭和59年11月6日(火) (定員150名になり次第、締切ります)。

「アーキテクチャワークショップ イン ジャパン '84」シンポジウム 参加申込書

昭和59年 月 日
申込者 氏名 _____ 会員 No. _____
連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____
Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)。

正会員, 賛助会員 10,000円 非会員 15,000円 学生会員 5,000円
懇親会 2,000円 参加 する しない

○送金方法

_____円を_____月_____日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金
方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富士銀行虎ノ門支店 993632
三菱銀行虎ノ門支店 0000608	三井銀行本店 4298739
住友銀行虎ノ門支店 10899	三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____ (No.)

注) 申込書は1枚1人として下さい (この用紙のコピーで可)。

第 15 回 画像工学コンファレンス

5月号本欄でお知らせしたとおり、標記コンファレンスが次の内容で開催されますので、多数参加されますようおすすめします。プログラムの詳細は本号末尾に掲載してありますので、ご参照ください。

- (1) わが国関連分野の第一人者による招待講演
- (2) 15回を記念して、最近のメディアテクノロジーに関する招待講演
- (3) 一般公募講演
- (4) 討論が十分にできるポスタセッション

なお、懇親会のほか、'84国際画像機器展が催されます。

- 期 日** 昭和 59 年 11 月 26 日(月) 13:00~17:50
27 日(火) 9:20~18:10 (懇親会 18:15~19:30)
28 日(水) 9:20~16:00
- 会 場** 農協ホール (東京・大手町・農協ビル9階)
- 参加費** 加盟学会員 8,000 円, 学生 4,000 円, 会員外 9,000 円, 懇親会費 3,500 円
- 申込方法** (1) プログラム末尾にある申込書に必要事項を記載し、参加費および懇親会費 (希望者のみ) をそえ、現金書留によりお送り下さい。折り返し参加券と領収証をお送りします。
(2) 申込期限 **11月5日(月)**
(3) 申 込 先 〒105 東京都港区芝大門 2-3-14 一松ビル1号館 402号
「第15回画像工学コンファレンス事務局」 Tel. 03 (433) 2544
- 論 文 集** 当日会場でお渡しいたします。当日欠席の方にはコンファレンス終了後、郵送いたします。また、論文集のみご希望の方には、8,000 円でコンファレンス終了後、郵送いたします。
- 主 催** 第15回画像工学コンファレンス実行委員会 (担当: 情報処理学会 コンピュータビジョン研究会・グラフィックスと CAD 研究会)
- 加盟学会・委員会** 5月号本欄参照
- '84国際画像機器展** 期 日 昭和 59 年 11 月 27 日(火)~29 日(木)
会 場 東京都産業貿易会館 (東京・竹芝)
主 催 日本画像・計測機器協議会
入場料 無料

※ コンファレンス会場と展示会場との間を、無料シャトルバスが走ります。

昭和 59 年度 電子通信学会 通信, 光・電波部門全国大会案内

標記全国大会が下記により開催されます。本学会会員は電子通信学会会員と同等の待遇で参加できます。

記

期 日 昭和 59 年 10 月 3 日(水)～5 日(金)
会 場 愛媛大学工学部・教養部 (松山市文京町 3)
参加費 正会員 1,000 円, 学生 500 円 (学生会員 無料), 非会員 1,700 円
懇親会 10 月 4 日(木) 18:00～ 松山全日空ホテル 会費 3,500 円 (学生 2,000 円)
問合せ先 (社)電子通信学会 Tel. 03 (433) 6691

〔記事〕 昭和 60 年電子通信学会総合全国大会は来年 3 月 27 日(水)～30 日(土)に神奈川大学(横浜市)で開催予定です。詳細は順次本欄でお知らせしますので、ご注意ください。

昭和 59 年電気四学会連合大会案内

昭和 59 年電気四学会連合大会は、昨年と同様にパネル討論・シンポジウム講演を下記により開催致します。情報処理学会は本年から正式に加盟することになりましたので、本会会員も四学会の会員と同様に参加できます。多数の会員が参加され、例年になく活発な質疑討論の展開により、会員各位の得るところの多い大会となるよう期待致します。

記

期 日 昭和 59 年 10 月 7 日(日)～9 日(火) 午前は 9:00～, 午後は 1:30～
会 場 日本工学院専門学校 3 号館 (東京都大田区西蒲田 5-23-22)
参加費 会員 1,000 円 (学生 500 円) 非会員 1,700 円
特別講演 10 月 8 日(月) 13:30～16:30 3 号館 1F 311 教室
高度情報社会と人間に関する諸問題

大島 正光 (医療情報システム開発センター)

高エネルギー物理学の工学への応用 西川 哲治 (高エネルギー物理学研究所)

シンポジウム・パネル討論 巻末連合大会日程参照

論文集 価格および内容細目は巻末参照

懇親会 10 月 8 日(月) 17:30～ 蒲田ステーションホール
会費 3,500 円 (学生 2,000 円)

問合せ先 (社)電気学会 電気四学会連合大会係 Tel. 03 (201) 0983

支 部 だ よ り

九 州 支 部 大 会 案 内

—電気関係学会九州支部第37回連合大会—

期 日 昭和59年10月26日(金), 27日(土)
会 場 福岡工業大学(福岡市東区和白東 3-30-1)
特別講演 10月26日(金) 15:30~17:00
攻撃性能機構について 中尾 弘之(九大医学部)
懇 親 会 10月26日(金) 18:00~20:00 会費 4,000円
ガーデンパレス(福岡市中央区天神 4-8-15)
参加希望者は9月29日(土)までに代金を添えてお申込みください。

論文集および懇親会申込先

〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会
Tel. 092 (641) 1101 (内線 5300) (振替口座番号 福岡 8-33001)

中国四国支部研究会・見学会案内

期 日 昭和59年10月15日(月) 9:40~17:00
会 場 マツダ株式会社(広島市安芸郡府中町新地 3-1)
(国鉄山陽本線 向洋(むかいなだ)下車 徒歩5分)

スケジュール

研究会(9:40~11:50) 本社第6会議室(定員50名)
3次元CAD/CAMシステム 真田 信昭(マツダ)
設計・生産準備におけるCAD/CAMの役割 高士 義則(マツダ)
見学会(13:00~17:00) 本社講堂ほか(定員100名)
工場管理システム 谷 信義(マツダ)
映画, 宇品組立工場見学, ディスカッション

申込方法 はがきに研究会, 見学会のいずれか, または両方の希望を明示し, 勤務先, 部
課名, 所在地, 電話番号, 氏名を記入のうえ申込みください。

なお, 昼食は実費を徴収しますので, この要否も併せて記入のこと。

申込締切 定員に達し次第締切ります。

申込先 〒724 東広島市西条町大字下見 広島大学工学部第二類(電気系)
情報処理学会中国四国支部 中村庚二 Tel. 0824 (22) 7111 (内線 3443)

東 北 支 部 研 究 会

期 日 昭和59年10月5日(金) 13:00~17:00
会 場 山形大学工学部(米沢市城南 4-3-16) 電気系会議室

問合せ先 支部事務局 Tel. 0222 (27) 6200 (内 2835, 2355)
その他 研究会終了後、懇親会を予定しております。

中部支部「システム制御における知的情報処理技術講習会」

——機械制御用言語とマンマシンシステム——

期 日 昭和 59 年 10 月 26 日(金) 9:00~16:30

会 場 王山会館 (名古屋市千種区覚王山通 8-18)

申込締切 昭和 59 年 10 月 6 日(土)

*その他詳細については前号会議案内欄参照のこと。

論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(隔月刊)および欧文誌“Journal of Information Processing”(略称 JIP・季刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は7月号749ページにあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

昭和 年 月 日

論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。(該当欄を○で囲む)

1. 氏 名 _____ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 _____)

電話 _____

送本先 (〒 _____)

注) 会員には会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 (_____ 巻 _____ 号から送本希望)

b. 欧文誌“Journal of Information Processing”(_____ 巻 _____ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ _____ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 _____ 月 _____ 日)

a. 現金書留 b. 郵便振替 c. 銀行振込 (_____ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)